



GK情報レポート

【2019年発行】

vol. 59

夏号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 当社引抜丸棒の特徴と利点
2. 横浜伸銅について
3. 営業部新人紹介
4. 銅相場情報『2019年第2四半期見通し』

皆様でご回覧下さい。

回覧印										
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～58）を用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

1. 当社引抜丸棒の特徴と利点

当社の銅丸棒、黄銅丸棒、低カドミウム黄銅丸棒は、110Φ迄は冷間引抜品となります。110Φ迄冷間引抜が行えるのは国内では当社だけです。他社の冷間引抜サイズは70Φ～80Φ位迄です。それ以上の太い径に関して他社は押出矯正品となります。引抜品は押出品に比べて、径の公差や曲がりの最大値といった寸法精度が格段に高く、高品質の製品となります。

1. 公差に関して

押出品と引抜品とで比較すると以下の通りとなります。

径の公差 (JIS H3250 より)

(表 1)

引抜材の公差	
径(Φ)	公差
10 を超え 20 以下	±0.06mm
20 を超え 35 以下	±0.08mm
35 を超え 50 以下	±0.10mm
50 を超え	±0.3%

(表 2)

押出棒の公差 (銅系)		押出棒の公差 (黄銅系)	
径(Φ)	公差	径(Φ)	公差
5 を超え 15 以下	±0.3mm	5 を超え 30 以下	±0.3mm
15 を超え	±2.0%	30 を超え	±10.0%

上記より、引抜丸棒は51Φからで±0.3% (表 1 参照)、押出丸棒の銅系よりも約7倍、黄銅系よりも3倍以上厳しい精度が求められていることが分かります。

2. 引抜丸棒の曲がりに関して

JISの曲がり公差は、長さ2,000mm以下が2mm以内、5,000mm以下が5mm以内です。51Φ以上の径については曲がりの規格はありませんが、当社では50Φ以下の公差に準じて製造しています。また当社の引抜丸棒は真円度も高い為、精密加工や機械加工する際に加工時間の短縮や発生屑の量が抑えられ、効率化やコストダウンに寄与します。

曲がりの最大値 *引抜丸棒

製法	径の区分		長さの区分		基準の長さ	曲がりの最大値
	Φ		mm		mm	mm
引抜	8 以上	50 以下	1,000 以下		全長	2
			1,000 を超え	2,000 以下	1,000	2
			2,000 を超え	5,000 以下	2,000	5
注記 : 質別Oは適用除外						

※押出棒には曲がりの規格はありません。

引抜丸棒の品種、サイズ

品種

1. 銅丸棒/20Φ～110Φ（圧延品）

当社では6Φから製造しておりますが、今回は特に圧延品の引抜銅丸棒に関してご紹介致します。

銅ビレットを熱間圧延した後、熱間引抜、冷間引抜、矯正、切断、検査し出荷となります。熱間圧延する事により鑄造しただけの組織から微細で良質な圧延組織にする事が出来ます。また、押出製法と比較すると、一般的に押出製法は一度の押出で作業完了しますが、当社の圧延は複数回ロールを通過させて内部組織を緻密にしていきます。その結果、高品質な製品を作ることができます。



大圧延機

2. 黄銅丸棒/50Φ~110Φ (圧延品)

引抜の黄銅丸棒はスクラップ材を溶解し、モールドと呼ばれる金型に流し込み鑄造しております。品種は「C3604」が主製品となります。その他にも特殊黄銅として「C3712」と「C3771」も製造可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

また、低カドミウム黄銅丸棒も製造しております。製造サイズは上記黄銅丸棒と同様で、カドミウム含有量は75ppm以下となります。

サイズ

前述までは製品の太さをご紹介しましたが、ここでは製品の長さ（製品長）についてご紹介致します。銅丸棒・黄銅丸棒は90Φ以下、低カドミウム黄銅丸棒は95Φ以下が定尺の4,000mmとなります。それ以上の径に関しても定尺の4,000mm近くまで製造可能となり、他社製品より製品長が長いので歩留が良いなどのご好評を得ております。詳細は以下の表をご参照願います。

銅丸棒 C1100BD-H/95Φ~110Φ

サイズ (Φ)	長さ (mm)	重量(kg)
95	約 3,800~約 4,000	約 240~約 260
100	約 3,800~約 4,000	約 260~約 280
110	約 3,500~約 3,800	約 300~約 310

黄銅丸棒 C3604BD-F/95Φ~110Φ

サイズ (Φ)	長さ (mm)	重量(kg)
95	約 3,600~約 4,000	約 220~約 240
100	約 3,400~約 3,800	約 240~約 270
105	約 3,700~約 3,800	約 270~約 290
110	約 3,300~約 3,800	約 290~約 300

低カドミウム黄銅丸棒 C3604BD-F(CN-34-75) /100Φ~110Φ

サイズ (Φ)	長さ (mm)	重量(kg)
100	約 3,700~約 3,800	約 250~約 270
110	約 3,400~約 3,800	約 270~約 310

*長さ、重量はあくまで目安となります。

記者 権田 (有)、小方

2.横浜伸銅について

横浜伸銅株式会社は、権田金属工業株式会社グループの非鉄金属販売子会社です。

多品種・短納期・加工品の提案営業により、需要家各位の利便性向上に努めてまいりました。本年、設立58年目になります。

社屋を本年1月に、横浜市都筑区に移転いたしました。同市神奈川区の旧社屋は、業務の非効率と社屋の老朽化が長年の懸案事項でした。



新社屋は、第三京浜の港北インターより、車で2～3分の場所に位置し、東京・神奈川地区近郊だけではなく、静岡方面へのアクセスにも優れています。敷地面積は、約800平方メートル強で倉庫面積も格段に広がり、作業効率や労働環境が大幅に改善いたしました。旧来倉庫に比べ2倍の在庫スペースです。

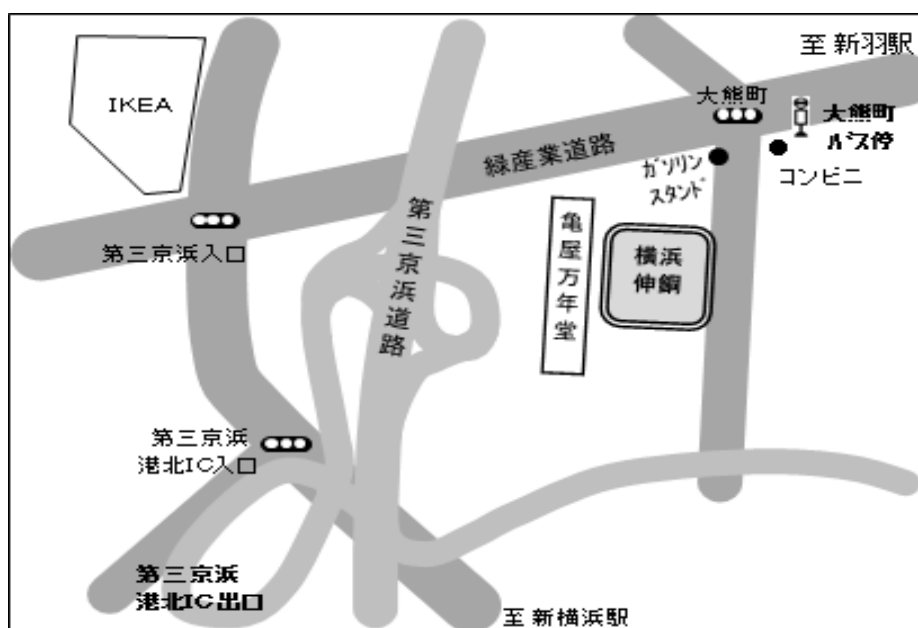
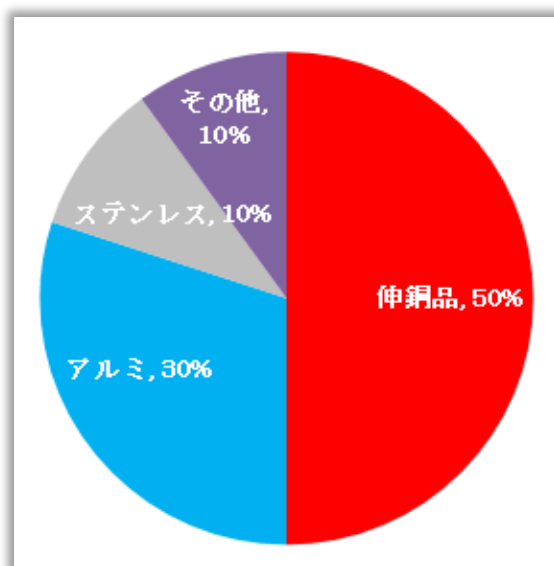




当社は伸銅系だけでなく、樹脂や鉛・亜鉛など多種多様な製品を扱っております。また小回りが利くので、小口配送の案件など何でもお気軽にご相談下さい。

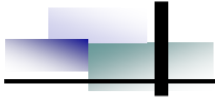
今後は権田金属工業株式会社と更なる連携を図り、カドミレス黄銅丸棒・銅丸棒・銅ブスバーをはじめアルミ材料などの在庫品を充実させ、加工品にも今まで以上に注力していきます。また高性能の切断機2基を新設する予定です。素材から加工品までをモットーに、需要家様のより一層の利便性向上に努めてゆく所存です。

2018年売上構成比率



住所 〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町 497-1
TEL 045-620-0034
e-mail eigyo@yoko-shin.co.jp
HP <http://yoko-shin.jp/>

記者 横浜伸銅(株) 鈴木



3. 営業部新人紹介

今年の4月から権田有紀子と小方一央（おがた かずひろ）の2名の新人が営業部に配属されました。

権田は当社社長の長女で、昨年4月に入社し、1年間製造部の品質管理や工程管理の仕事に従事しておりました。

小方は今年の3月に入社し、約1ヶ月間、製造部の各係や関連会社の横浜伸銅で、研修を積み、営業部に配属されました。今年の4月30日に二人目の子供が生まれました。


二人には様々な経験を通して成長し、権田金属工業を背負って立つ人材となって欲しいと思います。

今後ご挨拶させて頂いたり、お電話でお話させて頂く機会もあるかと思えます。

皆様、よろしくお願い申し上げます。



記者 日吉



4. 銅相場情報『2019年第2四半期見通し』

1. 電気銅建値推移

2019年2月・・・710円スタート(2月平均734.2円)

2019年3月・・・770円スタート(3月平均759.0円)

2019年4月・・・760円スタート(4月平均765.5円)

2019年5月・・・740円スタート

2. LME 指定倉庫在庫及び銅地金の需給状況

LMEの指定倉庫の在庫状況は、昨年9月に27万トン近くあったものが、本年2月中旬には11万トン迄減ったが、同年5月中旬時点では20万トンのラインを推移している。

米中貿易摩擦の長期化による影響は、世界の銅の約半分の需要を賄う中国経済に確実に影を落とし、5月15日に発表された中国の4月の小売売上高は前年比7.2%増と伸び率は3月の8.7%から大幅に縮小し、2003年5月以来の低水準となった。

昨年末より中国への銅を含むスクラップの輸入規制が施行された。輸入禁止となったリサイクル用スクラップ分は、中国国内への銅地金の輸入で補完されているものと予測されるが、経済成長率の鈍化により決定的な供給不足には至っていない。

銅鉱山生産量については、インドネシア政府がアメリカ・フリーポート社に対して発行しているグラスベルグ鉱山の銅精鉱の輸出許可が本年2月末に期限切れとなった。また年産40万トンの精錬所を有するインド・ペダント社について同国最高裁判所が操業再開を認めない決定を下すなど、アジア地域では供給不足の懸念はあるものの、南米では比較的問題もなく既存鉱山の採掘が行われ供給を押し上げている。

3. 為替の見通し

5月3日発表の米国の失業率は3.6%と約50年ぶりとなる歴史的な低水準で国内景気の底堅さを示した。FRB(連邦準備制度理事会)も「米経済は非常に良好。失業率が50年来の低水準で、インフレ圧力も抑制され、物価見通しは安定している」と述べた。物価上昇の目安となる平均自給率は同年比3.2%増と、市場予想の3.3%をやや下回るなど楽観視はできないが、米国景気は堅調に推移している。一方、1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で、FRBは、各地区連銀からの報告として「貿易政策を懸念して企業が投資を先送りしている」を発表している。米中貿易摩擦の影響が顕在化しつつあり不確定要素はあるものの、今後も国内産業の保護と成長を優先事項とした政策を推し進めることで、米国内は暫く現在の景況を保つものと見られている。

対する日本経済に関しては、改元の盛り上がりも一段落し、オリンピック特需も出尽くした感があり、起爆剤となるような大きな要因は見あたらず、ドル-円の関係は大きく変わらないものと予測される。

4. 今後の見通し

IMF（国際通貨基金）は4月9日に公表した今年の世界経済の成長率予測を前回1月の見通しから0.2ポイント引き下げ3.3%とした。長引く米中貿易摩擦による中国の景気減速に加え、イギリスの欧州連合（EU）離脱事案が大きな懸念材料として世界の企業マインドを萎縮させる恐れが出てきたとして、成長率を鈍化させた。

世界銀行は2019年の世界の経済成長率は2.9%と算定し、2018年6月の3%と比べて0.1ポイント落ちるとした。

昨年10月にポルトガル・リスボンで開催されたICSG（国際銅研究会）で、銅の需給が協議され、2019年は供給量2,483万トンに対して、需要量は2,489万トン、6万トンの供給不足と予測されている。

銅地金の需要に関しては、欧州や中国情勢の停滞感が及ぼす影響は、インドやブラジルなど新興国の拡大分よりも大きく、暫くは低水準の伸びにとどまるものと見られている。

一方供給面について。鉱山開発では、南米各鉱山に大きな不安要素が見受けられず、世界的には、アジア地区の鉱山の落ち込みを補って余りあるだけの生産を維持している。

銅の供給量は、現在まで、1994年以来倍化している。供給量に関して問題はなく、当初の予想に反し、今後暫くはわずかばかりだが供給が需要を上回り、銅の価格についてはやや弱含みで推移するものと予測される。

短期予測(1M) LME \$5,800~6,500/ト、為替 107~115 円/\$
 建値 660~740 円/kg

長期予測(3M) LME \$5,700~6,700/ト、為替 106~116 円/\$
 建値 640~750 円/kg

記者 田中

